

社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年11月15日 / Vol. 027



11月7日(月)～11月13日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

シェルター訪問



ご支援総額

2022年11月8日までの寄付総額 106,984,743 円

寄付金使用総額 2815562.42 zł (約8165万円)

11/7(月)～11/13(日)の期間中の寄附金使用額

29738.31 zł (約86万円)

支援を受けている子どもから支援者の皆様へ、メッセージが届けられた。ウクライナの人々に心を寄せる日本の皆様への感謝が込められている。



活動内容

支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

2月の侵攻以降、協力して支援活動にあっていたPeron4は、この度NGO団体として正式に認定され、今後の支援活動の幅が広がる見通し。



レストランプロジェクト

市内レストラン2店舗と協力し、1週間で約530食を提供。

ウクライナ人オーナーの作るウクライナ料理は、避難民の心を癒し、温めている。



食材支援（毎週金曜日）

今週は金曜日が祝日なため、水曜日に買い出しを実施。

35家族に1週間分の昼食用食材を提供。一人あたり50złの予算を設け、合計で5200.26 zł（約151,000円）分の食材を購入。参加家族が増えたため、一般客と店側の負担を考慮し、参加者を2グループに分け、2店舗で買い出しを実施した。



シェルター訪問

クラクフ市福祉課が運営する Kapelankaシェルターを訪問。

同シェルターには現在440名が滞在しており、24時間開放されている。

冬服支援のクーポン利用者も多く滞在しており、購入品の撮影をさせて頂いた。

冬用のブーツ、フリース、ダウンジャケットなど、カメラに向かって嬉しそうに購入品を披露してくれた。





現地の動向

11月11日はポーランドの独立記念日であり、ポーランド各地でイベントが行われた。

当日は街のいたるところで国旗が掲揚され、市民の多くが国旗やポーランドカラーのバッジを身に着けているのが例年の光景だが、今年はウクライナ国旗を一緒に掲げる市民の姿も目立った。

かつてポーランドは独立のために闘ってきたため、ロシアに対抗する現在のウクライナの人々の姿が他人事ではない、といった気持ちから、ポーランドとウクライナ国旗を手にして市民も見受けられた。

多くの人で賑わう中央広場内では、あちこちでウクライナ語が聞こえ、ポーランドの独立を祝うウクライナの人々の様子に、両国民の団結力の高まりが感じられた。

